

SilverFast - Pioneer in Digital Imaging



SilverFast[®] 8

プロフェッショナルスキャナーソフト ウェア
プロフェッショナル画像作業ソフトウェア



日本語



SRDx

画像埃・キズ除去機能



SRDx – 画像の埃・キズ除去機能

画像上の埃粒子とも、付き合っていないかなくてはいけませんので、写真・ディアス・ネガフィルムが、画像トラブルを被るのは、珍しいことではありません。SilverFastの画像埃・キズ除去機能は、このトラブルを解決します。



SRDxとは?

SilverFast SRDx はすべての SilverFast スキャナーバージョン、HDRバージョンに搭載されています。SRDx は、画像の埃やキズなどのトラブルを感知し、除去するために、フルに新アルゴリズムを使用します。もちろんSRDx は、カラーフィルム、ネガタイプフィルム、写真の作業にもご利用いただけます。



2x SilverFast 8 埃・キズ除去:

- SRDx: ソフトウェアベース機能。
- iSRD: 赤外線ベース機能
対応しないスキャナーもあります。

SRDx – 使用法

SRDx をアクティブにするには、垂直方向のツールリストのSRDxボタンをクリックしてください。左のツールドックのダイアログウィンドウが開きます。



SRDxダイアログ

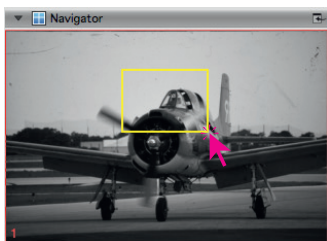
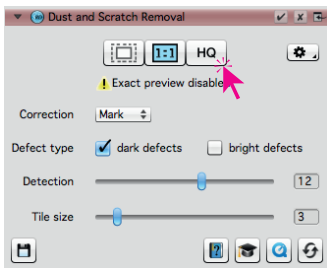
SRDxダイアログ中のソフトウェアベースの画像埃・キズ除去機能を選んでください。下記のコントロール構成がご覧になれます。

- プレビューモード: ダイアログの上に位置する並列するスイッチから、どのプレビューを使用するか決めます。

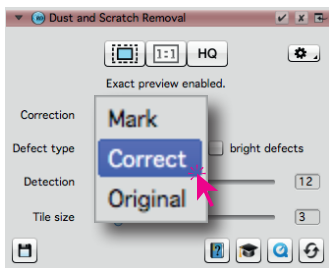
- 通常プレビュー: SilverFast が、オーバービューにある総合プレビュースキャンを表示します。SRDx修正は、この時モード上に表示されません。

- 1:1プレビュー: SRDxの効果の正確な評価のために、高解像のプレビュースキャンがされ、ナビゲーターウィンドウが開きます。作業中の画像の部分がいろいろフレームでマークされ、画像部分の変更がナビゲーターウィンドウで動きます。SRDx は、現作業中の画像部分のみを処理します。SRDx効果の後作業は、画像部分の移動を指示します。

- HQプレビュー: 全体画像のために高解像のプレビュースキャンを一度行うと、HQプレビュー全体のためのSRDxの効果が計測されます。画像部分は、SRDxの計測ナシでも、ナビゲーターウィンドウに、黄色いフレームで移動されます。SRDxは、迅速に様々な画像領域を調整します。



- 表示:トラブルのマーキング:メニューでSRDx表示モードを設定:
 - トラブルのマーキング: マーキング・モードは赤マークですべてのトラブルを表示します。
 - 修正モード: プレビュー画像中の選択された SRDx設定の結果が修正モードで計測されます。
 - オリジナルのトラブル: このモードではオリジナルのトラブルのみが表示され、トラブルはマークされません。修正された画像も表示されませんが、スキャン時・作業時に使用された画像は表示されます。
- トラブルのタイプ: ここで、修正したいトラブルのタイプを設定してください。ポジティブフィルムも、多くの場合、画像に暗い部分として埃やキズが見つかります。ネガフィルム上には、明るく確認できます。使用している画像トラブルの種類にチェックマークを入れてください。暗い部分のトラブルも明るく映る部分のトラブルを、同時に修正できます。
- 感知: スライダーコントロールで、SRDx がどのように画像トラブルを探るか設定してください。画像のキズがよく感知されていない場合、レギュレーターを右に移動してください。画像ディテールにもトラブルがある場合、レギュレーターを左に移動してください。レギュレーター „Tile size“ もお試しください。
- トラブルの大きさ: このレギュレーターは修正される発見されたトラブル領域の大きさを確定します。修正のためにレギュレーターを右に動かしてください。



SRDx校正の効果は1:1プレビューとHQプレビューで確認できます。

標準オーバービュー・プレビューでは、表示されません。

エキスパート・モード

(SilverFast Ai Studio と HDR Studio)に搭載)

エキスパート・モードは、修正される画像トラブルをマーキングするために使用されます。エキスパート・モードを開き、下のSRDxダイアログの „doctoral cap“ ボタンをクリックしてください。ダイアログは 2ツール領域に拡大されます:



トラブル・マーキング

ここでは、トラブル感知の強度をマニュアルで簡単に小さい領域に適応させる操作のツールと、感知された全トラブル領域の中の個々の画像領域を排除するツールです。

- マーカーツール: 画像に調節マウスでトラブル感知の強度を適応させてください。画像をクリックし、変更したい画像部分をマウスで引っ張ってください。効果を強めるために、修正するトラブル領域に幾度もこの操作を行えます。
 - ラジウス: マニュアル操作に適切なマウスポインタの大きさを、スライダー・コントロールで設定してください。
 - 強度: このレギュレーターではトラブル感知機能の強度の変更ができます。強度を強くするためにはプラスを、弱くするためにはマイナスを選択してください。



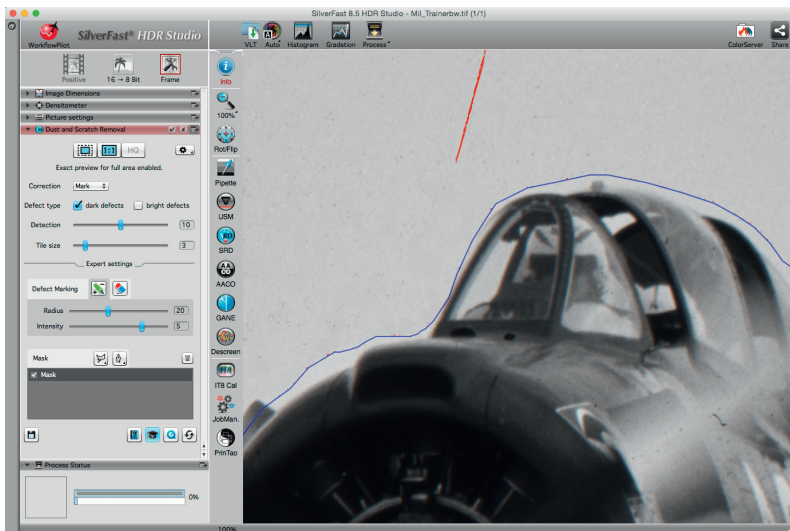
- ・消しゴムツール: 消しゴム機能は、全修正領域から一部を修正するために使用されます。画像ディテールは保護されます。画像をマウスクリックし、修正する部分へ引いてください。
- ・ラジウス: スライダー・コントロールで、マニュアル操作に適切なマウスポインタの大きさを設定してください。



マスク

他にも、マスクの機能使用で、画像の特定領域をSRDx機能で修正する機能があります。

- ・多角マスク: 画像をクリックし、マウスで希望の輪郭を移動してください
- ・パスマスク: 使用するマスクの外観をマウスクリックしてください。ふたつのポイントが線で繋がれます。レバーツールで直線・曲線の変更ができます。



空のトラブルを修正しながらも、マスクの使用で飛行機のディテールが保護されます。